

年表でかくにん

1086年	白河上皇が(院政)を始める
1167年	(平清盛)が武士として初めて政権を手に入れる。
1192年	(源頼朝)が征夷大將軍に任じられる。
1221年	後鳥羽上皇が(承久の乱)をおこす。
1232年	執権の北条泰時が(御成敗式目)を定める



肖像画

院と平治の政治

• 白河天皇は位をゆすり、何という立場になって院政を始めたか。(上皇)

• 11世紀中頃、全国の土地は次のA、Bに分かれて支配された。A、Bの土地をそれぞれ何といいますか。

- (A ... 地方の武士が土地を寄進して増えていった、貴族や寺社の私有地。 (荘園))
- (B ... もとは国の土地で国司が支配するようになった。A以外の土地。 (公領))

• 平清盛がついた、朝廷で最も高い役職を何といいますか。(太政大臣)

• 清盛が行った貿易を、貿易相手である中国の国(王朝)の名をよって、何貿易といいますか。(日宋貿易)

• 院政を始めた上皇はだれですか。(白河上皇)

• 荘園を広げた大寺院では、朝廷に圧力をかけて荘園の争いを解決しようと、右の資料のような武装した僧をかかえるようになった。このような僧を何といいますか。(僧兵)

